



2023年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年7月13日

上場会社名 日本PCサービス株式会社 上場取引所 名
 コード番号 6025 URL <https://www.j-pcs.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家喜 信行
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 吉田 俊樹 TEL 06-6734-7722
 四半期報告書提出予定日 2023年7月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第3四半期の連結業績（2022年9月1日～2023年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第3四半期	4,900	5.2	△1	—	△7	—	△16	—
2022年8月期第3四半期	4,659	△0.6	△134	—	△139	—	△109	—

(注) 包括利益 2023年8月期第3四半期 △25百万円 (—%) 2022年8月期第3四半期 △126百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第3四半期	△9.47	—
2022年8月期第3四半期	△63.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年8月期第3四半期	2,075	170	8.2	97.89
2022年8月期	2,280	195	8.6	112.34

(参考) 自己資本 2022年8月期第3四半期 170百万円 2022年8月期 195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2022年8月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年8月期の連結業績予想（2022年9月1日～2023年8月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,635	6.1	38	—	30	—	1	—	0.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年8月期3Q	1,739,800株	2022年8月期	1,739,800株
② 期末自己株式数	2023年8月期3Q	212株	2022年8月期	212株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年8月期3Q	1,739,588株	2022年8月期3Q	1,739,588株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの位置づけが、5月より5類に引き上げられることとなったことで、人の移動が活発になり、リモートワークから出社の割合を増やす企業も多く見受けられるようになるなど、経済活動は新型コロナウイルス感染拡大前の状況に向けて再開しつつあります。世界経済においては、米国における金融機関破綻や金利の高止まりによる景気の後退が懸念される他、ロシアによるウクライナ侵攻が継続していることによる資源価格の上昇など先行き不透明な状況がいまだに続いております。当社グループが属する情報通信サービス業界においては、企業を中心に「デジタル・トランスフォーメーション（DX）」によるビジネスモデル構築や業界構造を大きく変化させる新たなデジタル化の流れが引き続き力強いものとなっており、またデジタル化による新しい生活様式への対応などのニーズは底堅く、企業におけるIT投資も拡大し続けています。

このような状況の中で当社グループにおきましては、リブランディング戦略の一環として、デジタル化が進む社会で多様化するトラブルに対処するため、顧客からのあらゆる要望を解決する「デジタルの総合病院」を目指し「デジタルホスピタル」をコンセプトにブランドを一新しました。また新たな顧客層へのプロモーションの強化と、既存顧客へのグループ間の各ブランド認知を行い、相互シナジーを強化するため、タレントの稲村亜美氏をイメージキャラクターに起用しました。稲村氏の健康的で親しみやすい雰囲気により、1人ひとりに合わせた最適な方法によるトラブル解決を行う「デジタルの総合病院」としてブランドイメージの定着と向上を目指します。

また、2025年8月期を最終年度とする中期経営計画（連結売上高75億円、営業利益率5%）達成へ向け、更なる集客力の強化、スマホサポートの拡大、法人向け事業の高収益化に向けた構造改革、積み上げ型ストック事業の拡大などにも積極的に継続して取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は4,900百万円（前年同期比5.2%増）、営業損失は1百万円（前年同期は営業損失134百万円）、経常損失は7百万円（前年同期は経常損失139百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は16百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失109百万円）となりました。

なお、当社グループの主要な事業は、パソコン、タブレット端末、スマートフォン、家庭用ゲーム機器、及びデジタル家電等のネットワーク対応機器に関する設定設置やトラブルに対し、訪問または電話で対応、解決するサービスの提供や、店舗に持ち込まれた機器の修理やトラブル解決を行っており、事業セグメントはスマートライフサポート事業による単一セグメントであります。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における資産は2,075百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円減少しました。

流動資産については1,477百万円となり、前連結会計年度末に比べ122百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が104百万円増加し、売掛金が183百万円、前払費用が10百万円及びその他流動資産が21百万円減少したことによるものであります。

固定資産については598百万円となり、前連結会計年度末に比べ82百万円減少しました。これは主に、繰延税金資産が24百万円増加し、無形固定資産が98百万円及び投資有価証券が11百万円減少したことによるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は1,905百万円となり、前連結会計年度末に比べ179百万円減少しました。

流動負債については1,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円減少しました。これは主に、契約負債が17百万円、未払法人税等が16百万円及びその他の流動負債が15百万円増加し、買掛金が58百万円及び未払金が12百万円減少したことによるものであります。

固定負債については521百万円となり、前連結会計年度末に比べ144百万円減少しました。これは主に、長期借入金が117百万円及び社債が30百万円減少したことによるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は170百万円となり、前連結会計年度末に比べ25百万円減少しました。これは主に、利益剰余金が16百万円及びその他有価証券評価差額金が8百万円減少したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期通期の連結業績予想につきましては、第4四半期以降における新型コロナウイルス感染症の影響及び物価高、商材の不足等による業績への影響が現状では不透明であり、新たな業績を予想することが困難であるため、業績予想の変更は行っておりません。

なお、今後開示の必要が生じた場合には速やかにお知らせいたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	496,410	600,417
売掛金	605,360	421,496
商品	284,294	276,098
原材料及び貯蔵品	7,754	4,851
前払費用	131,307	121,136
その他	93,323	71,558
貸倒引当金	△18,152	△17,964
流動資産合計	1,600,298	1,477,594
固定資産		
有形固定資産	57,925	63,236
無形固定資産		
のれん	282,145	219,586
商標権	49,513	26,404
その他	53,062	40,455
無形固定資産合計	384,722	286,446
投資その他の資産		
投資有価証券	38,727	27,197
差入保証金	114,294	118,900
繰延税金資産	43,506	68,110
長期貸付金	26,878	19,696
その他	15,623	16,454
貸倒引当金	△1,298	△1,711
投資その他の資産合計	237,731	248,647
固定資産合計	680,379	598,330
資産合計	2,280,678	2,075,924
負債の部		
流動負債		
買掛金	120,402	62,057
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	278,982	269,409
未払金	256,096	243,213
未払費用	74,634	72,961
未払法人税等	15,339	31,416
賞与引当金	4,877	3,061
契約負債	127,766	145,267
その他	101,478	116,920
流動負債合計	1,419,577	1,384,307
固定負債		
社債	100,000	70,000
長期借入金	563,285	446,184
その他	2,383	5,150
固定負債合計	665,668	521,335
負債合計	2,085,246	1,905,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	360,058	360,058
資本剰余金	156,566	156,566
利益剰余金	△329,412	△345,888
自己株式	△433	△433
株主資本合計	186,778	170,302
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,652	△20
その他の包括利益累計額合計	8,652	△20
純資産合計	195,431	170,281
負債純資産合計	2,280,678	2,075,924

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
売上高	4,659,751	4,900,363
売上原価	3,072,990	3,166,293
売上総利益	1,586,760	1,734,070
販売費及び一般管理費	1,720,852	1,735,377
営業損失(△)	△134,091	△1,307
営業外収益		
受取利息	214	347
受取配当金	683	696
助成金収入	1,957	1,557
その他	3,575	4,674
営業外収益合計	6,430	7,276
営業外費用		
支払利息	7,275	9,116
事務所移転費用	—	3,123
その他	4,176	807
営業外費用合計	11,452	13,047
経常損失(△)	△139,113	△7,078
特別利益		
投資有価証券売却益	33,339	—
特別利益合計	33,339	—
特別損失		
固定資産除売却損	988	8,156
特別損失合計	988	8,156
税金等調整前四半期純損失(△)	△106,761	△15,235
法人税等	1,203	1,241
四半期純損失(△)	△107,964	△16,476
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,661	—
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△109,626	△16,476

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年5月31日)
四半期純損失(△)	△107,964	△16,476
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,110	△8,672
その他の包括利益合計	△18,110	△8,672
四半期包括利益	△126,075	△25,149
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△127,736	△25,149
非支配株主に係る四半期包括利益	1,661	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純損失に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。